

3月10日 年男卓話、藤井克将さん

早いもので明日11日で東日本大震災がおきて5年目になります。現在も復興が進んでいない状況がメデイやマスコミ等で報道されています。ロータリークラブも相当額の義援金が送られました。今月のロータリーの友に記事がありましたが、「ロータリー希望の風 奨学金」の状況が掲載していました。震災の年2011年11月1日に「ロータリー東日本・大震災・青少年・支援・連絡・協議会」が発足し、賛同した国内10地区（2710地区含む）と、国外1地区の義援金の残金を基金として両親もしくは片親を失った約1.750人の被災遺児に対する教育支援プログラムです。「ロータリー希望の風 奨学金」は両親もしくは片親を失った遺児で、大学（短大を含む）、専門学校に学ぶ学生に入学から卒業まで毎月5万円を給付する。返還はない奨学金。昨年2015年12月31日までに228人に奨学金を支給しています。すでに80人が卒業しています。運営の状況は当初、約4億3000万が用意されていましたがプログラムが開始され昨年2015年11月30日までの4年間に約3億1500万がよせられています。「ロータリー希望の風 奨学金」は震災時0歳の子供が大学あるいは専門学校を卒業する22年間に渡って奨学金を支給するプログラムです。発足当初は震災のおきた年度のガバナーを中心とした13人の委員会でしたが現在は主旨に賛同された、さまざまな立場の人が就任し27人の委員会で遂行されています。単純計算ですが奨学金1人240万円として奨学生1,000人では24億円が必要です。「ロータリー希望の風 奨学金」のホームページから募金の寄付ができます。今週の12日土曜日に宇部東クラブにてアイ・エム IM（INTERCITY MEETING）都市連合会の略称。近隣・クラブが集まって開かれるロータリーの会合です。会員相互の親睦と知識を広めることであって会員にロータリー情報を伝え奉仕の理想を勉強するために開催されます。今回は宇部東クラブ翁林武雄ガバナー補佐のもと開催されますグループ内の会員の親睦も重要な目的ですから懇親会も併せて開催されます。今回は財団の地区補助金について宇部クラブの猪熊哲彦・財団・理事の講演があります過去に4回地区補助金を受けていますのでベテランの手腕を話されませぬ。楽しみにしてください。

過去の補助金事業は

- 1・うべ彫刻ファンクラブに彫刻清掃用の清掃機材を寄付
- 2・宇部福祉会館に電子レンジ2台と各種調理器具と食器を寄付
- 3・山口宇部医療センターに回診車3台とホワイトボード2台を寄付
- 4・グウデスグウさんに農機具保管倉庫を寄付。